

太郎良 信 教授 略歴・主要業績

【略歴・職歴等】

- 1970年 4月 東京教育大学教育学部教育学科 入学
1974年 3月 東京教育大学教育学部教育学科 卒業
1976年 4月 東京教育大学大学院教育学研究科修士課程 入学
1979年 3月 東京教育大学大学院教育学研究科修士課程 修了, 教育学修士
1980年 4月 筑波大学大学院博士課程教育学研究科 入学
1987年 3月 筑波大学大学院博士課程教育学研究科 単位取得満期退学
1991年 4月 文教大学教育学部助教授 (～1997年3月)
1997年 4月 文教大学教育学部教授
2003年 4月 文教大学教育学部心理教育課程長 (～2013年3月)
2007年 4月 文教大学大学院教育学研究科教授
2013年 4月 文教大学教育学部長 (～2015年3月)
2013年 4月 文教大学学園評議員 (～2021年3月)

1985年以降, 非常勤講師として, 女子聖学院短期大学, 東京女子体育短期大学, 創価大学, 埼玉大学, 共栄学園短期大学, 東洋大学, 横浜国立大学, 東京学芸大学, 千葉大学, 筑波大学, 立教大学, 神田外語大学, 千葉県看護大学校, 千葉県医療技術大学校などに出講

【大学に於ける専門領域】

教育学 教育史 生活綴方教育史 教員史

【学会及び社会的な活動】

- 1976年 10月 教育史学会会員
1976年 10月 日本教育学会会員
1976年 10月 関東教育学会会員 (～2016年8月)
1976年 10月 日本教育史学会会員
1989年 8月 日本作文の会常任委員 (～2011年8月)
1991年 8月 東京都荒川区教育史編さん委員 (～1996年3月)
1992年 10月 日本特別活動学会会員 (～2006年5月)
1995年 4月 東京都教育史執筆委員 (～1997年3月)
1998年 1月 日本教育学会機関誌編集委員 (～1999年12月)
2010年 8月 全国大学国語教育学会会員
2015年 4月 埼玉県立越ヶ谷高等学校学校評議員, 学校評価懇話会委員 (～2018年3月)

【主要業績】

単著

- 1990年 『生活綴方教育史の研究—課題と方法—』 教育史料出版会
1996年 『「山芋」の真実—寒川道夫の教育実践を再検討する—』 教育史料出版会



共編著, 分担執筆

- 1984年 唐沢富太郎編著 『教育人物事典』 全3巻, ぎょうせい (項目執筆)
- 1985年 鈴木博雄編著 『原典・解説 日本教育史』 日本図書文化協会 (分担執筆)
- 1987年 林若子ほか編 『遊んで学ぶ のびのび学級』 草土文化 (分担執筆)
- 1988年 鈴木博雄編著 『最新教育原理要説』 振学出版 (分担執筆)
- 1988年 森川耀紀ほか編 『実践教職課程講座 第18巻 教育史』 日本教育図書センター (分担執筆)
- 1988年 川口幸宏・太郎良信・中島和美編著 『「教育・国語教育」解説』 大空社 (共編著)
- 1988年 青木一ほか編 『現代教育学事典』 労働旬報社 (項目執筆)
- 1990年 日本作文の会編 『作文教育実践講座1 子どもの発達と作文教育』 駒草出版 (分担執筆)
- 1990年 鈴木博雄編著 『日本近代教育史研究』 振学出版 (分担執筆)
- 1991年 メアリ・キタガワ/チサト・キタガワ著, 川口幸宏ほか監訳 『書くことによる教育の創造—アメリカ人による生活綴方教育の研究』 大空社 (分担翻訳)
- 1993年 鈴木博雄編著 『日本教育史研究』 第一法規 (分担執筆)
- 1993年 日本作文の会編 『戦前・戦後 日本の学級文集』 全20巻, 別巻1, 大空社 (共編著)
- 1994年 北原隆太郎ほか編 『自由詩のひらいた地平』 久山社 (分担執筆)
- 1994年 荒川区教育史編さん室編 『福島の下で—荒川区学童集団疎開五十周年記念誌—』 荒川区教育委員会 (分担執筆)
- 1994年 荒川区教育委員会編・発行 『荒川区教育史 資料編』 全3巻 (分担執筆)
- 1995年 日本作文の会編 『子どもの作文で綴る戦後50年 第8巻 自然とともに』 大月書店 (分担執筆)
- 1996年 西原慶一 『日本児童文章史』 大空社 (解説執筆)
- 1996年 あけもどろの会編 『ことば・生活・教育』 ルック (分担執筆)
- 1996年 荒川区教育委員会編・発行 『荒川区教育史 通史編』 (分担執筆)
- 1996年 東京都立教育研究所編・発行 『東京都教育史 通史編三』 (分担執筆)
- 1997年 東京都立教育研究所編・発行 『東京都教育史 通史編四』 (分担執筆)
- 1998年 刊行委員会編 『井野川潔 教育と文学に生きる』 教育史料出版会 (分担執筆)
- 1999年 戸田金一・太郎良信・大島光子編著 『手紙で綴る北方教育の歴史』 教育史料出版会 (共編著)
- 1999年 寺崎昌男編 『教育名言事典』 東京書籍 (項目執筆)
- 2001年 日本作文の会編 『日本の子どもと生活綴方の50年』 ノエル (分担執筆)
- 2001年 久保義三ほか編 『現代教育史事典』 東京書籍 (項目執筆)
- 2002年 安彦忠彦ほか編 『新版 現代学校教育大事典』 ぎょうせい (項目執筆)
- 2006年 砂田弘編 『キューボラのある街よ いつまでも』 けやき書房 (分担執筆)
- 2010年 上笙一郎・長谷川潮編 『児童雑誌「赤とんぼ」のすべて』 大空社 (分担執筆)
- 2012年 加藤理ほか編 『叢書 児童文化の歴史Ⅱ』 港の人 (分担執筆)
- 2018年 編集委員会編 『赤い鳥事典』 柏書房 (項目執筆)

研究報告書

- 2004年 放課後児童クラブ研究会 (代表 太郎良信) 『放課後児童クラブの適正規模についての調査研究』 平成15年度児童環境づくり等総合調査研究事業報告書, こども未来財団, A4判171ページ
- 2005年 『戦前の児童向け綴方雑誌に関する教育史的研究』 平成13・14・15・16年度科学研究費補助金基盤研究

- (c) (2) 研究成果報告書, A4判97ページ
- 2010年 『「鑑賞文選」「綴方読本」の研究—小砂丘忠義研究の一環として—』平成21年度文教大学学長調整金による研究報告書, A4判246ページ
- 2012年 『1920年代から1940年代における小学校教員の意識と行動』平成21・22・23年度科学研究費補助金 基盤研究 (c) (2) 研究成果報告書, A4判97ページ
- 2020年 『翻刻・校訂 木村文助「綴方概論」』平成28年度～令和元年度科学研究費助成金・基盤研究 (c) (一般) 「1930年代における綴方教育実践史の調査研究」研究成果報告書, A5判316ページ

論文

- 1979年 「生活綴方と生活指導—峰地光重における綴方教材編成論を中心として—」『教育』第29巻第2号, pp.104-113
- 1980年 「『生活重視』の綴方教育論の形成過程—峰地光重を中心として—」『季刊生活綴方』第9号, pp.33-40
- 1981年 「戦前生活綴方教師の組織化の研究—全日本綴り方倶楽部を中心に—」『関東教育学会紀要』第8号, pp.15-29
- 1981年 「『土着教員』として生きる—峰地光重の教育実践(1)—」『月刊どの子も伸びる』第5巻第5号, pp.87-90
- 1981年 「子どもを自由なる天地に!—峰地光重の教育実践(2)—」『月刊どの子も伸びる』第5巻第6号, pp.87-90
- 1982年 「子どもの目を生かす教育の模索—峰地光重の綴方教育論の展開—」『月刊どの子も伸びる』第5巻第11号, p.55-62
- 1983年 「生活綴方教育史研究における『生活綴方』規定の検討—中内敏夫『生活綴方成立史研究』の批判的検討—」筑波大学大学院博士課程教育学研究科『教育学研究集録』第7集, pp.31-43
- 1986年 「文園社争議の研究—戦前生活綴方教育史研究—」筑波大学大学院博士課程教育学研究科『教育学研究集録』第10集, pp.21-31
- 1986年 「『生産と教育』論争の検討—1930年代における教育政策と教育実践—」『関東教育学会紀要』第13号, pp.13-25
- 1988年 「『綴方細胞』・『綴方人』の研究(一)—戦前生活綴方教育運動の地方的展開—」『生活綴方教育』第3号, pp.197-216
- 1989年 「芦田恵之助の人間観と教育実践—教壇行脚日記を手掛りにして—」筑波大学教育学系『教育学系論集』第13巻第2号(鈴木博雄・梶村光郎と分担執筆) pp.20-26
- 1990年 「文部省『小学校指導書 国語』を読む」『作文と教育』第41巻第1号, pp.64-65
- 1991年 「高齢化社会を中学生はどう見ているか」『作文と教育』第42巻第11号, pp.24-27
- 1992年 「生活綴方教育史研究の動向と課題をめぐって」筑波大学日本教育史研究室『日本教育史研究年報』創刊号, pp.49-51
- 1992年 「学級通信の歴史—その素描—」『教育』第42巻第13号, pp.15-24
- 1993年 「峰地光重の生活指導論の検討—特別活動の歴史的系譜についての研究—」『日本特別活動学会紀要』第1号, pp.74-84
- 1993年 「戦後の学校給食のあゆみを考える」『生活教育』第12巻第1号, pp.4-11
- 1994年 「『山芋』をめぐる論議について」『日本教育史往来』第90号, pp.3-5

- 1995年 「『山芋』の成立事情を探る（上）（下）—岡本潤の詩と『山芋』の詩との類似の問題からのアプローチ—」『作文と教育』第46巻第1号, p.58-64.第46巻第2号, pp.65-71
- 1997年 「証言や教育実践の批判的検討をめぐって」『日本教育史研究』第16号, pp.125-130
- 1998年 「“『山芋』の戦後史”研究の展望」『第20回ペスタロッヂ祭資料集』 pp.11-27
- 1998年 「『山芋』の授業を読みかえす」『作文と教育』第49巻第5号, pp.46-49
- 1998年 「小砂丘忠義に学ぶもの」『土佐 綴方茶話』第2号, pp.17-30
- 1999年 「知識を子どもの生活からとらえなおす—鈴木喜代春編『みつばちの子』—」『作文と教育』第50巻第4号, pp.67-69
- 1999年 「戦前生活綴方教師の生き方—『手紙で綴る北方教育の歴史』を読む—」『作文と教育』第50巻第11号, pp.31-38
- 2000年 「‘総合的な学習の時間’と生活綴方教育」『作文と教育』第51巻第6号, pp.128-140
- 2000年 「寒川道夫研究のあり方をめぐって—木村隆利論文の批判的検討（上）（下）—」『作文と教育』第51巻第7号, pp.38-41.第51巻第8号, pp.44-47
- 2000年 「『綴り方倶楽部』の研究（1）」『文教大学教育学部紀要』第34集, pp.59-70
- 2002年 「綴方学習雑誌『綴方〇年生』の研究」『文教大学教育学部紀要』第36集, pp.97-110
- 2004年 「子ども・学力・そして教師—北方教育に学ぶこと—」『教育文化』臨時号, pp.17-26
- 2004年 「『児童文選』とその後継誌についての研究」『文教大学教育学部紀要』第38集, pp.61-73
- 2005年 「全国連合小学校教員会の成立」『文教大学教育学部紀要』第39集, pp.21-32
- 2005年 「教員採用者数の急増と『青田刈り』をめぐって」『作文と教育』第56巻第1号, pp.62-65
- 2005年 「学童保育の適正規模を考える」『日本の学童はいく』第359号, pp.24-29
- 2006年 「雑誌『教育報国』の創刊に関する研究」『文教大学教育学部紀要』第40集, pp.31-41
- 2007年 「『山芋』顕彰碑建立の問題についての一考察」『文教大学教育学部紀要』第41集, pp.95-106
- 2008年 「全国連合小学校教員会の固有性」『文教大学教育学部紀要』第42集, pp.47-58
- 2009年 「1920年代における小学校教員会の全国組織化について」『文教大学教育学部紀要』第43集, pp.59-70
- 2010年 「東京市小学校教員会の研究」『文教大学教育学部紀要』第44集, pp.143-153
- 2011年 「綴方学習雑誌『綴方読本』の終刊時期の確定について—『綴方読本 上級用』昭和9年11月号の確認による—」『教育研究ジャーナル』第3巻第2号, pp.23-24
- 2011年 「文園社争議に関する検討—『近代教育』創刊号所載の関係記事による—」『教育研究ジャーナル』第4巻第1号, pp.19-20
- 2011年 「国分一太郎による生活綴方批判の検討—1936年から1939年における—」『文教大学教育学部紀要』第45集, pp.21-38
- 2012年 「1936年における『教育報国』発禁処分事件について」『教育研究ジャーナル』第4巻第2号, pp.23-24
- 2012年 「千葉春雄主幹『教育北日本』の‘関東北性’の意味」『教育研究ジャーナル』第5巻第1号, pp.15-16
- 2013年 「綴方教育における『文壇の批評』の意味の検討」『教育研究ジャーナル』第5巻第2号, pp.25-26
- 2013年 「『教育文芸』発禁事件の再検討—小説「培ひ」の内容確認を通して—」『教育研究ジャーナル』第6巻第1号, pp.25-26
- 2014年 「小砂丘忠義における綴方の評価基準—二つの綴方「子守のつらさ」の評文に即して—」『教育研究ジャーナル』第6巻第2号, pp.23-24
- 2014年 「詩集『山芋』考—村田喜代子に即して—」『教育研究ジャーナル』第7巻第1号, pp.25-28

- 2014年 「木村不二男の綴方教育論の検討」『文教大学教育学部紀要』 第48集, pp.99-112
- 2015年 「国分一太郎の農村教師論—国民精神総動員運動のもとで—」『教育研究ジャーナル』 第7巻第2号, pp.33-36
- 2015年 「時代が求める教員養成を探求しつつ」『大学時報』 第360号, pp.38-43
- 2015年 「『伸びゆく学童』の創刊—通俗医学雑誌からの独立—」『教育研究ジャーナル』 第8巻第1号, pp.13-16
- 2016年 「綴方における方言使用の是認—雑誌『児童の綴方』の場合—」『教育研究ジャーナル』 第8巻第2号, pp.41-44
- 2016年 「1930年代における木村文助の綴方教育論の検討」『教育研究ジャーナル』 第9巻第1号, pp.29-32
- 2017年 「1937年における国分一太郎の教壇復状況の検証」『教育研究ジャーナル』 第9巻第2号, pp.49-52
- 2017年 「鈴木正之の綴方教育の検討—『鉛筆の跡を辿りて』に即して—」『教育研究ジャーナル』 第10巻第1号, pp.31-34
- 2017年 「木村文助の綴方教育論の研究 (1) —手稿『綴方概論』の検討—」『文教大学教育学部紀要』 第51集, pp.307-319
- 2018年 「木村文助と鈴木三重吉の綴方教育論の異同の検討」『教育研究ジャーナル』 第10巻第2号, pp.13-16
- 2018年 「木村文助の綴方教育論における意欲」『教育研究ジャーナル』 第11巻第1号, pp.9-12
- 2018年 「木村文助における綴方教育の模索と展開」『文教大学教育学部紀要』 第52集, pp.139-152
- 2019年 「家庭環境の福祉的ケアと教員の職務—1930年代の事例をもとに—」『文教大学教育学部紀要』 第52集別集, pp.119-123
- 2019年 「小砂丘忠義の『赤い鳥』綴方観」『教育研究ジャーナル』 第11巻第2号, pp.17-20
- 2019年 「小説家による綴方への加筆の検討—林美美子に即して—」『教育研究ジャーナル』 第12巻第1号, pp.5-8
- 2019年 「1910年代における村文助の綴方教育論の検討」『文教大学教育学部紀要』 第53集, pp.57-72
- 2020年 「綴方と小説の相違の検討—中本弥三郎に即して—」『教育研究ジャーナル』 第12巻第2号, pp.13-16
- 2020年 「1930年前後における木村文助の綴方教育論」『文教大学教育学部紀要』 第54集, pp.191-203
- 2020年 「兵士への慰問文にみる国民学校教育の実態」『教育研究ジャーナル』 第13巻第1号, pp.13-16
- 2020年 「木村文助の文芸綴方論を読む (上) (下)」『作文と教育』 第885号, pp.56-59.第886号, pp.56-59
- 2021年 「『生活主義教育事件』における弾圧理由の検討—村山俊太郎に即して—」『教育研究ジャーナル』 第13巻第2号, pp.9-12
- 2021年 「峰地光重編『綴方字引』に対する児童と保護者のうけとめ方—国分一太郎指導『峰地先生にあげる』に即して—」『教育研究ジャーナル』 第14巻第1号, pp.11-14
- 2021年 「1937年段階における国分一太郎の綴方教育実践の検討—文章表現技術指導としての綴方教育の問題—」『文教大学教育学部紀要』 第55集, pp.59-75

その他

- 1976年 書評 「中野光『教育改革者の群像』」『季刊 教育運動研究』 第2号, pp.217-219
- 1976年 「『綴方生活』と大分の相良」『綴方生活』 複製版月報』 第15号, pp.20-21
- 1977年 「学べる遊べる小さな塾—補習と友だちづくりを重点に—」『子どものしあわせ』 第270号, pp.38-40
- 1978年 書評 「宮之原彬著『南方の生活綴方』」『教育』 第28巻第8号, pp.64-65
- 1978年 「城丸論文への一つの疑問」『生活指導』 第20巻第5号, pp.9-10
- 1978年 「解説① 第一回配本 (一九二九年十月～一九三〇年二月)」『綴方生活』 複製版月報』 第1号, pp.5-10

- 1978年 「解説② 第二回配本 (一九三〇年三月～五月)」『綴方生活』復刻版月報 第2号, pp.1-5
- 1978年 「解説③ 第三回配本 (一九三〇年六月～十一月)」『綴方生活』復刻版月報 第3号, pp.1-8
- 1978年 「解説④ 第四回配本 (一九三〇年十二月～三一年三月)」『綴方生活』復刻版月報 第4号, pp.1-9
- 1978年 「解説⑤ 第五回配本 (一九三一年四月～八月)」『綴方生活』復刻版月報 第5号, pp.1-11
- 1978年 「解説⑥ 第六回配本 (一九三一年九月～三三年一月)」『綴方生活』復刻版月報 第6号, pp.1-11
- 1978年 「解説⑦ 第七回配本 (一九三三年六月～三四年一月)」『綴方生活』復刻版月報 第7号, pp.1-9
- 1978年 「峰地光重著作論文等文献目録 (一)」『季刊 生活綴方』 第3号, pp.128-132
- 1979年 「解説⑧ 第八回配本 (一九三四年二月～七月)」『綴方生活』復刻版月報 第8号, pp.1-9
- 1979年 「百田宗治主宰 『工程』 総目録」『季刊 生活綴方』 第7号, pp.140-158
- 1980年 「百田宗治主宰 『綴方学校』 総目録」『季刊 生活綴方』 第10号, pp.75-101
- 1981年 「戦時体制下の子どもと教師— 『工程』 『綴方学校』 復刻によせて—」『季刊 教育運動研究』 第14号, pp.148-149
- 1981年 「峰地光重著作論文等文献目録 (二)」『季刊 生活綴方』 第11号, pp.143-147
- 1982年 「『工程』 『綴方学校』 昭和初期の教育雑誌が復刻」『日本教育新聞』 第4485号
- 1984年 「生活綴方教育史研究の転換の中で」『日本教育史往来』 第26号, pp.1-2
- 1985年 「『北方性』と二つの『教育北日本』」『北教』 第33号, pp.14-15
- 1988年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動① 岡山県綴方同人会 『綴り方岡山』」『復刻版 「教師の友」 会報』 第1号, pp.10-11
- 1989年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動② 茨城県国語教育研究会 『茨城・国語教育』」『復刻版 「教師の友」 会報』 第2号, pp.10-11
- 1989年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動③ 山梨国語教育研究会会報」→ 『山梨国語教育』『復刻版 「教師の友」 会報』 第3号, pp.10-11
- 1989年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動④ 香川県綾歌郡国語教育研究会 『国語讃岐陣』」『復刻版 「教師の友」 会報』 第4号, pp.10-11
- 1990年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動⑤ 綴方細胞社 『綴方細胞』 → 静岡県綴方教育人連盟 『綴方人』」『復刻版 「教師の友」 会報』 第5号, pp.10-11
- 1990年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動⑥ 埼玉県児玉郡・麓原会向道社 『向道』」『復刻版 「教師の友」 会報』 第6号, pp.10-11
- 1990年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動⑦ 女性綴方教師の研究同人誌 『モラル』」『復刻版 「教師の友」 会報』 第7号, pp.10-11
- 1990年 書評 「木戸若雄著 『昭和の教育ジャーナリズム』」『学校運営』 第32巻第2号, p.45
- 1991年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動⑧ 北海道北見教育会綴方科研究部 『北見綴方教育』 → 『北見文選』」『復刻版 「教師の友」 会報』 第8号, pp.10-11
- 1991年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動⑨ 大分県綴方研究会 『児童文研究』」『復刻版 「教師の友」 会報』 第9号, pp.12-13
- 1991年 「地域における戦前教師たちの教育研究活動⑩ 全日本綴り方倶楽部 『綴り方日本』」『復刻版 「教師の友」 会報』 第10号, pp.12-13
- 1993年 書評 「志摩陽伍著 『生活綴方再入門』」『教育』 第43巻第3号, pp.108-109
- 1994年 「学童集団疎開五〇周年」『作文と教育』 第45巻第13号, pp.72-73

- 1997年 「『山芋』の戦後史」『出版ニュース』 第1758号
- 1998年 「大関松三郎詩集 『山芋』 は寒川道夫の少年詩である」『週刊金曜日』 第6巻第20号
- 2001年 「吉田ふみ研究のこと」『日本教育史往来』 第130号, pp.1-2
- 2004年 「両立支援のためのサービスのあり方」『こども未来』 第395号, pp.20-21
- 2007年 「一九二五年頃から三五年頃までの全国の綴方や児童詩を時系列で示す」『図書新聞』 第2807号
- 2008年 「『山芋』 は寒川道夫が戦後に書いた少年詩集である」『日本古書通信』 第73巻第6号, p.27
- 2009年 書評 「清水寛・近藤原理編 『この子らと生きて』『子どもに生きる』『人間と教育』 第64号, pp.126-127
- 2013年 書評 「佐藤藤三郎著 『ずぶんのあたまで考えろ— 私が「山びこ学校」 で学んだこと—』『作文と教育』 第801号, p.78
- 2013年 「2・26称賛で発禁 『教育報国』 誌 教員らも大義を評価」『東京新聞』 2月26日夕刊
- 2017年 書評 「豊田ひさき著 『東井義雄の授業づくり』」『教育学研究』 第84巻第1号, pp.91-92
- 2017年 書評 「奥平康照著 『「山びこ学校」 のゆくえ』」『日本の教育史学』 第60集, pp.151-154
- 2019年 「『だまされたのだとしても』『信じていたし』 で恵那の生活綴方運動を語れるのか?」『作文と教育』 第871号, pp.56-57
- 2020年 「木村文助の綴方教育—子どもを理解する実践と理論—」『秋田魁新報』 5月11日
- 2021年 「『本作り勉強』 の学習者を体現する教師」『指導と評価』 第802号, pp.4-5

